|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ４年 | 器械運動「マット運動」単元指導計画（案） | 体育館 |
| 単元目標 | 知識及び技能 | 回転系や技巧系の基本的な技の行い方が理解できるようにする。自己の能力に適した技をしたり、動きの最後で静止してポーズを決めたりすることができるようにする。発展技に取り組むとともに、技を繰り返したり組み合わせたりすることができるようにする。 |
| 思考力、判断力、表現力等 | 自己の能力に適した課題を見つけ、その課題の解決のための活動を選んだり、考えたことを友達に伝えることができるようにする。 |
| 学びに向かう力、人間性等 | 友達と仲良くマット運動に取り組み、約束を守り助け合って運動をすることができるようにする。互いの動きを見合ったり補助をしたったりすることができるようにする。 |
|  | 時間 | １ | ２ | ３ | ４ | ５ | ６ |
| 学習の流れ | ０５２０４５ |  | １．整列・あいさつ　　　２．準備運動　　　３．めあての確認 |
| 【めあて】単元の目標と学習の流れを確認しよう。 | 【めあて】できそうな技にチャレンジしみよう | 【めあて】できる技を高めよう。 | 【めあて】技を組み合わせてみよう。 | 【めあて】技の組み合わせを高めよう。 | 【めあて】組み合わせ技発表会をしよう。 |
| **４ オリエンテーション**・学習の進め方・１時間の流れ・場づくり・約束・片付け**５　基礎感覚運動**・ゆりかご・うさぎとび・かえるの足打ち・ゆりかごから起きる　・手押し車**６　いろいろな技**場の作り方を確認しながら、いろいろな技にチャレンジして楽しむ。　・前転　・後転　・開脚前転、後転　・側転　・頭倒立 | **４．活動①**自分ができそうな技を見つけ、その技にチャレンジすることができるようにする。**６．活動②**いろいろなコースをグループで伝え合いながら、コツやポイントを押さえる。※見つけた、気づいたポイントは、付箋に記入し貼っていくようにする。 | **４．活動①**できる技をｉＰａｄなどで客観的に確認し、より高めることができるようにす。**６．活動②**　グループで伝え合いながら、コツやポイントを押さえてチャレンジできるようにする。「よりできる」ためにはどこをどうすればいいのか？※見るポイントを絞ると良い | **４．活動①**　技の組み合わせを考えながら、取り組むことができるようにする。**６．活動②**　友だちを相談したり、仲間の組み合わせ技を見たりしながら組み合わせ技を考えることができるようにする。 | **４．活動①**　組み合わせ技の順番を考えたり、技と技の間にどんな工夫ができるか考えたりすることができるようにする**６．活動②**　仲間同士で伝え合い、より技を高めることができるようにする。 | ★基礎感覚運動…ゆりかご、大きなゆりかご、うさぎとび、カエルの足打ち、手押し車、カエルの逆立ち、はらばい飛行機、背支持倒立で足開き**４．活動①**　自分の考えた組み合わせ技を発表しよう。５　きらりタイム・・・友だちやチームの動き等から、うまくできるコツや友だちの良い点等を全体で確認する。**６．活動②**　友達の良かったところや、気づいたこと、マットをして楽しかったことなどを共有する。・担任の先生から称賛の言葉を送る |
| ☆ふり返り（できるようになったこと、むずかしかったこと、楽しかったこと、友だちの良い所、次がんばりたいこと等。必要に応じて**実技と結びつけて発表させる**） |
| 評価規準 | 知・技 | 〇 |  | 〇 | ○ |  |  |
| 思判表 |  | 〇 |  |  | ○ |  |
| 主体的 | 〇 |  |  |  |  | ○ |

　作成者：体育科指導ＣＯ金城　光文書院「体育の学習（５年）」p10〜15